

館長だより

山形県産業科学館

平成28年4月7日 第57号

発行 館長 大津 清

「タブレット端末で学習ゲームをやってみよう！」開催

去る平成28年3月20日(日)10:30~15:00に山形県産業科学館2階フリースペースにおいて、「タブレット端末で学習ゲームをやってみよう！」のイベントが行われました。これは、やまがたメイカーズネットワーク主催による協賛イベントです。42名の子どもたちが体験しました。タブレット端末が身近に使用できるようになり、学習に取り入れると教育効果も期待されると思われま

す。参加していただいた皆さん、ありがとうございました。



「大型電子掲示板」を新設しました

去る平成28年4月1日(金)より山形県産業科学館2階東側入口に、デジタルサイネージによる「大型電子掲示板」を設置しました。館内の展示や科学アイテムの内容やイベント・ワークショップなどの紹介をしています。

デジタルサイネージの大きさは55インチの大型ディスプレイで、とてもきれいです。これから有効に活用していきたいと考えています。ご覧ください。



平成28年度 今年度の基本方針と重点目標

【産業科学館の基本方針】

山形県産業科学館の目的（山形県産業科学館条例）を達成するために、本県産業及び県内企業への理解を深めてもらうとともに、それらを支える科学技術に親しんでもらうことにより、科学原理に対する理解や興味を生み出す機会を提供する。

【今年度のキーワード】 つなぐ 実践する 伝える

【本年度の重点目標と実践項目】

本県産業の理解
科学する心の醸成
科学技術への関心



山形県HPより

つなぐ

- ・業務の継続
- ・各団体との連携
- ・協力体制

実践する

- ・展示の充実
- ・イベントの工夫
- ・ワークショップ

伝える

- ・情報発信
- ・アンテナ高く
- ・魅力づくり

・生きるとはつまり、生きることの問いに正しく答える義務、生きることが各人に課す課題を果たす義務、時々刻々の要請を充たす義務を引き受けることにほかならない

ヴィクトール・E・フランクル著「夜と霧」より

ヴィクトール・E・フランクル（1905-1997）はオーストリア精神科医、心理学者で、ロゴセラピーの創始者です。ナチス強制収容所から奇跡的に生還し、その体験を記録した「夜と霧」は世界的なベストセラーになっています。